



2026年度 東北地理学会 秋季学術大会 プログラム

(共催：新潟野外調査セミナー)

1. 期 日 2026年9月26日(土)～27日(日)
2. 会 場 新潟大学 五十嵐キャンパス 教育学部B棟
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050

3. 日 程

	時刻	発表分野	発表番号
9月26日(土)	09:30～11:20	自然分野	111～115
	11:20～12:18	共通分野①	211～212
	12:18～13:30	昼休み	
	13:30～14:20	共通分野②	213～214
	14:20～17:30	人文分野	311～319
	18:00～20:00	懇親会	※ 詳細は下記参照
9月27日(日)	09:00～16:00	巡 検	※ 詳細は下記参照

※ 懇親会は、当日の参加申込も可能です。巡検は、事前の申し込みが必要です。

4. 交 通 JR東日本 越後線 新潟大学前駅、または、内野駅から 徒歩20分
アクセス方法(新潟大学webページ)
<https://www.niigata-u.ac.jp/university/access/ikarashi/>
5. 昼 食 事前にご準備いただくか、大学周辺の飲食店・コンビニをご利用ください。
※ 大会当日、大学構内の食堂・売店は●●予定です。

6. 懇親会 日 時 9月26日(土) 18:00～20:00
会 場 新潟大学 第3学生食堂
会 費 6,000円(学生・院生 2,000円)
※ 懇親会当日、会場受付にて現金でお支払いください。

7. 巡 検 日 時 9月27日(日) 09:00～16:00
テ ー マ 「新潟の『潟』と砂丘の自然と歴史を巡る」
コ ー ス JR新潟駅南口 9:00集合出発 - 福島潟(ビュー福島潟) - 新潟市北区郷土博物館 - 新潟バイパス - 佐潟公園 - (カーブドッチワイナリー:未定) - JR新潟駅 16:00解散
※ 当日事情で経路変更あり
案 内 者 澤口 晋一(新潟国際情報大)
定 員 20名(申し込み順) 参加費 3,000円(おにぎり等の軽食ランチ代含む)
申込〆切 9月7日(月) ※ 必ず事前の申し込みが必要です。

8. 宿 泊 新潟市内のホテル等をご利用ください。

※研究発表 L：発表時間20分＋質疑時間8分 S：発表時間12分＋質疑時間8分 *：口頭発表者

① 09月26日(土) 午前

(自然・共通分野)

発表：09:30～11:20

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
111	9:30	S12分		大島壮太(東北大・院)*・大月義徳(東北大)	栃木県足尾帯における表層崩壊と堆積岩風化物質—2015年関東・東北豪雨崩壊地を中心に—
112	9:50	S12分		西城 潔(宮城教育大)*・上原一輝(伊那市立伊那北小)	過去の炭焼きが植生景観の成立に及ぼした影響の検討—船形連峰泉ヶ岳を例に—
113	10:10	L20分		大月義徳(東北大)	ケニア海岸地域におけるマングローブ林の地形条件と地表被覆変化
114	10:40	S12分		瀧本家康(宇都宮大)・齋藤日菜(宇都宮大・学)*・安倍啓貴(筑波大・院)・亀田直記(京都教育大)	那須おろしの気候学的特徴
115	11:00	S12分		瀧本家康(宇都宮大)	大学生は地球の平均気温の変化のしかたを正しく捉えているか

(共通分野)

発表：11:20～12:18

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
211	11:20	L20分		櫛引素夫(青森大)	豪雪都市の除排雪対策比較—飯山、上越、長岡、弘前、青森の対比から
212	11:50	L20分		岩船昌起(鹿児島大)	岩手県山田町A寺における東日本大震災資料の定量的な検討(続)—2011～2013年の業務量等の時系列的な変化に注目して—

② 09月26日(土) 午後

(共通分野)

発表：13:30～14:20

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
213	13:30	L20分		古市剛久(宮城教育大)*・緑川さくら・根本蒼唯(宮城教育大・学)	環境防災の視点に立った学校教育教材としての仙台旧市街地北縁の梅田川流域
214	14:00	S12分		山内洋美(宮城県仙台西高)	持続可能な社会を地理でどう学ぶか—気候変動と暮らしのかかわりから—

(人文分野)

発表：14:20～17:30

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
311	14:20	L20分		初澤敏生(福島大)	現行学習指導要領に基づく小学校社会科地図帳に関する検討
312	14:50	S12分		岩鼻通明(元山形大)	『新編会津風土記』にみえる即身仏
313	15:10	S12分		森本健弘(筑波大)	棚田保全活動への多様な来訪と地域間関係—千葉県鴨川市大山千枚田を事例に—
314	15:30	S12分		遠藤尚(東北学院大)*・ニ・ヌンガー・スアルティニ(ガネーシャ教育大)・菅原真枝(東北学院大)	インドネシア・バリ州における対日労働移住の背景と帰還後の状況(第1報)
315	15:50	S12分		朝倉空良*・笹沼勇我(福島大・学)	磐越東線の開通と沿線地域の人口への影響
316	16:10	S12分		雁部咲耶(防衛省)・雁部那由多*(東北大・院)	戦前期地方航空路線における仙台飛行場の機能—東京—札幌線の中継地としての利用に着目して—
317	16:30	S12分		品田光春(東北学院大)	明治初期の新潟県における油田開発の動向
318	16:50	S12分		有馬詩織(福島大・院)*・初澤敏生(福島大)	福島県本宮市における企業防災の実施状況—南相馬市との比較、被災経験との関連に着目して
319	17:10	S12分		稲葉雅子(東北大・研)	原子力災害被災地における観光の可能性について—大熊町の事例から—